



# 任期満了を迎えて 2期8年間 市政運営の総括

—前宇陀市長 竹内幹郎—

この度、4月26日の任期満了をもって、私は市長の職を辞することになりました。これまで「宇陀市の今を良くする、将来も良くする」との思いで、全力で走ってきました。これも多くの方々に支えられてきたおかげです。市民はじめ議員や職員、各関係者の皆さまに感謝申し上げます。

## 改革改善に努めた1期目

就任当時の平成22年。この頃は夕張市が財政破綻していた時期であり、「宇陀市も夕張市に次ぐのではないか」、それほど財政状況は逼迫していませんでした。

そこでまず、行財政改革を進めることで、将来のまちづくりに向けた基盤づくりを目指しました。

財政を圧迫する主な要因は、人件費、また合併に伴う施設の管理経費の増大でした。そこで、自らの給与を30%カット

トすることをはじめ、職員の給与や手当の削減、新しい勸奨退職制度の創設などにより人件費の削減を行ってきました。また、給食センターの統合など、施設の統廃合をはじめ行政組織の見直しにも積極的に取り組んできました。

その結果、平成22年当時の人件費と比べると同28年度決算ベースで約10億円の削減、経常収支比率は、合併当時107%であったものが、平成28年度決算ベースでは97%を示し、奈良県下の平均ぐらいいまで財政状況が改善され、将来に向かって投資できる土壌が整いました。

## 「新宇陀市モデル」を目指した2期目 5つのNEXTビジョンを掲げた2期目

平成26年からの2期目では前期4年間の成果と反省を踏まえ、社会環境・自然環境・市の将来像を見据え、「5つのNEXTビジョン」を掲げました。

それは、「産業振興・地域振興」「ウェルネスシティ構想」「定住・雇用促進」「市民との協働」「教育・福祉の充実」。

これらを実現するため、引き続き行財政改革に積極的に取り組むとともに、時代に即応した

行政運営と持続可能な財政構造の確立を目指してきました。行財政改革の面では、特に合併時から懸案事項である2つの問題解決に取り組みました。

1つは宇陀川流域下水道の移管について。本来は合併後、県施設であった同下水道の所管は市に移り、以後管理は市で行わなければならないとされてきました。しかし、国や県への要望活動が功を奏し、引き続き県により運営されることとなり、市としては概ね年3億5千万円の負担軽減となりました。

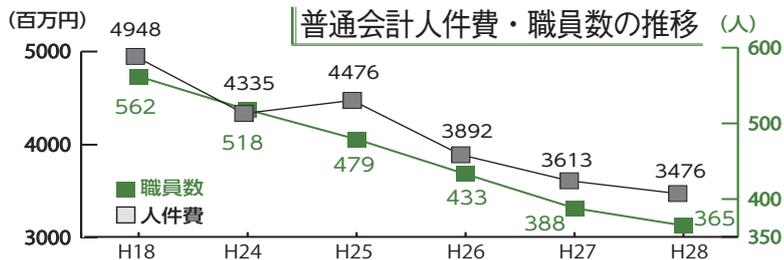
2つ目は合併市町村に対する地方交付税の優遇措置の存続について。本件も政府に対し、奈良県と合併市、関係各位との度重なる要望活動の結果、合併後の地域の実情に沿った新たな交付税制度が認められることになりました。これらの問題解決により、将来に向けての市の財政確保ができたと考えています。

NEXTビジョンの実績については、まず市が掲げていますウェルネスシティ構想が、一定市民の間に定着していることを大変嬉しく思っています。この構想の目標はトータルでの福祉の向上「生涯健康、生涯楽しく働く、生涯現役」を実現できる

経常収支比率の推移



普通会計人件費・職員数の推移



「健康寿命の延伸」です。ただ長生きではなく、皆さまに最後まで健康で元気でいていただくことが目標です。併せて、在宅介護の負担軽減となる「地域包括ネットワークシステム」の構築や各種施策の充実も不可欠であると考えています。

また、まちづくり協議会が、市内全域で設置され、地域づくりを推進する土台が整いました。これは地域活性化のベースとして非常に有益であり、今後、強い期待を寄せています。

教育の面では、小中学校の耐震化の実施、また総合的な実践教育を行うことで、将来、子どもたちが宇陀市、日本、そして世界で活躍できるような人間形成を目指し、それらの環境整備に向け、努力してきました。



▲各まち協で積極的に行われている防災訓練

安心・安全のまちづくりについては、市の防災行政無線システムが昨年本格稼働しました。これは最新のIT技術を活用し、災害時にも、被害の軽減、人命の確保に大きな役割を果たすものです。また毎年、大震災等を想定し、行政機関、防災機関、そして市民が連携した防災訓練を実施してきました。

産業振興については、産業振興会議の答申などにより農業の6次産業化を目指して誘致した企業が、旧伊那佐文化センターで事業を開始しましたが、約半年で倒産するということがありました。その際には、企業誘致特別委員会が設置され、調査が行われました。皆さまには大変ご心配をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。

しかしながら現在、旧伊那佐文化センターにはロート製薬株が参入され、同センターを活動拠点とし、新たな事業を展開していただいています。その中でも、ネクストコモンズラボ（NCL）奥大和では、地域での新たな事業創出を目指し、様々な活動が行われています。この取り組みは、平成28年12月に宇陀市、奈良県、ロート製薬株との間で締結した「仕事づくり連携協定」に基づくもので、現在4名

の方が「宇陀市仕事づくり推進隊」として地域と連携しながら市内での起業を目指しています。ぜひ「食」や「農」分野のバイオニアとなる事業者が宇陀の地に育ってほしいと願っています。

最後に、現在、精神的に取り組んでいる宿泊事業者誘致事業は、「遊休地の解消」と「美穂苑の老朽化」「産業振興」という3つの課題解決とともに、雇用の創出など産業振興を通じて、地域への経済波及効果を目指すものです。民間企業の資金や経営ノウハウと宇陀市とのコラボレーションにより、観光産業、交流や防災機能を有する複合拠点を整備することで、地域経済循環の起爆剤となり、地域全体の活性化と安心に繋がればと大いに期待しています。

### やっらなる飛躍を願って

わがまち宇陀市が、合併後の10年を一区切りとして、更なる発展を目指すためには、次の10年が極めて重要となります。最後に宇陀市に対する私の思いを少し述べさせていただきます。

少子高齢・人口減少への対応、産業振興、定住・雇用の促進、教育・福祉の充実、行財政改革の一層の推進など課題は山積しています。それらの課題解決の

ため、これまで『宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、様々な事業に取り組んできました。

また現在、「まちづくり基本計画」の策定に向けて、榛原駅前をはじめ大宇陀・菟田野・室生の中心部の「地域拠点」の検討が進められているところです。この取り組みでは地域資源を最大限活用しながら、地域の活性化や魅力あるまちづくりを進めていくべきだと思っております。これらの拠点整備に加えて「まちづくり協議会」単位での集落拠点として、「避難所」「地域コミュニティ」「ウェルネス」などの施設を複合的に整備することも必要ではないか、そのことが「安心して暮らし続けられるまちづくり」に繋がるのではないかと考えています。ぜひ新



▲平成28年12月 奈良県・宇陀市・ロート製薬で締結した「大和高原の魅力ある仕事づくり連携協定」

体制でも検討をお願いしたいと思っております。

このように任期中の道のりを振り返りますと、1期目で作った土壌に、2期目では宇陀市の将来への種を播き育て、地域振興・産業振興などの各分野に芽吹かせることができたのではないかと考えています。今後、その芽を市民の皆さま、議員各位、職員の方々にしっかりと育てていただくことで、大きな実り・収穫に繋がるもの、そしてトータル福祉の向上に繋がるものと確信しています。

市民の皆さまに改めて深く感謝申し上げますとともに、宇陀市がさらに飛躍していくことを願ってやみません。これまでご支援いただき誠にありがとうございました。



▲各地域で行われているいきいき百歳体操

# 今年度の当初予算をお知らせします

一般会計予算は、歳入・歳出ともに

173億6000万円

問 財政課 ☎82・1305 / IP ☎88・9071



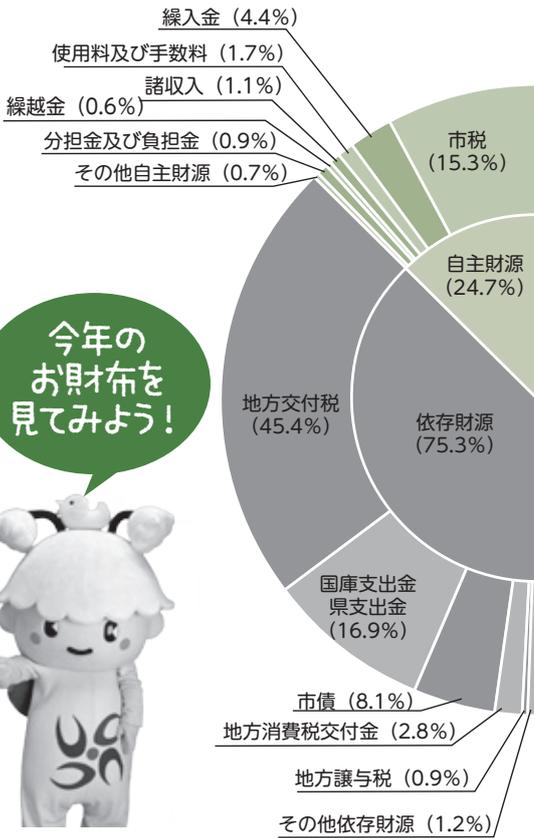
市長選挙を控え、経常経費や継続事業を中心とした骨格予算

平成30年度の当初予算は、4月に市長選挙を控えていたため、経常経費や継続事業を中心とした骨格予算となっています。

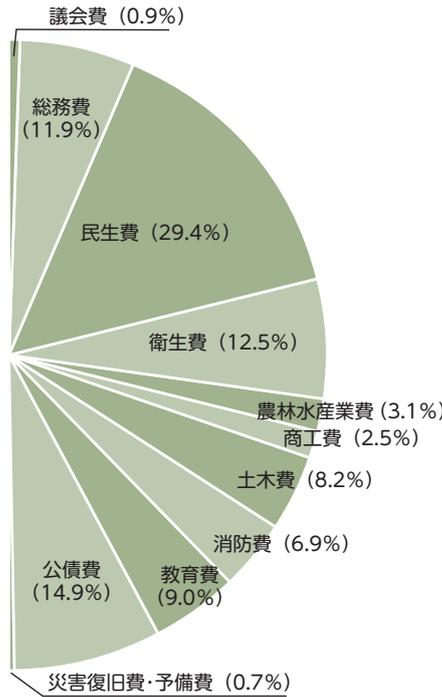
今後は、この予算に新市長が独自の政策を盛り込んだ補正予算を議会に提案、審議を経て市政運営をしていくこととなります。

骨格予算とは  
地方公共団体の長の選挙時期等の関係から政策的な判断が難しいなどの事由により、政策に係る経費の予算計上を避け、人件費や経常経費等を中心に計上した予算

## 歳入の部



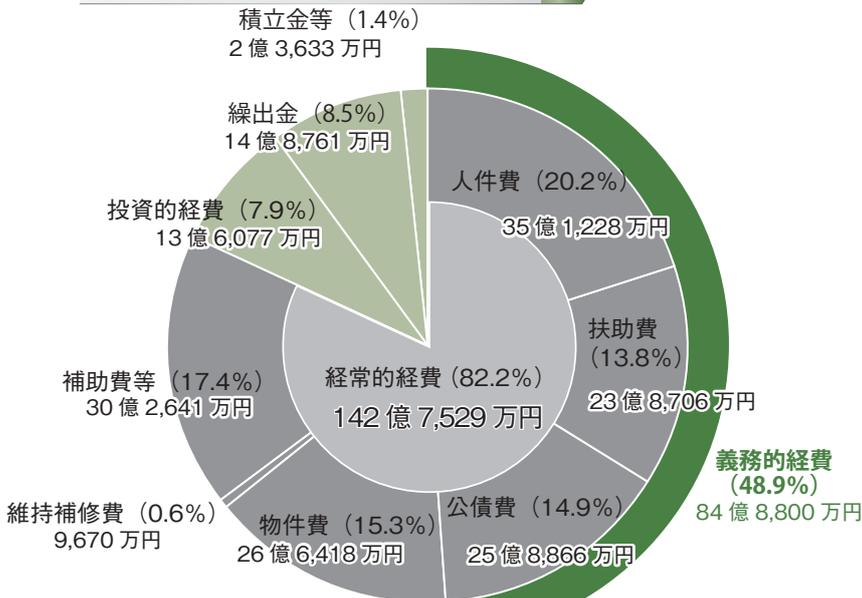
## 歳出の部



今年のお財布を見てみよう!



## 性質別に見た一般会計歳出予算額



■義務的経費とは…歳出のうち支出が義務づけられ、あるいは任意に削除することができない経費のことです。

## 予算の概要

一般会計の予算総額は、骨格予算のため、政策予算を計上した前年度予算と比較して4億9,000万円(2.7%)の減となっています。

歳入では、地方交付税が45.4%を占め、続いて国・県支出金の16.9%、市税の15.3%、市債の8.1%となっています。総収入の75.3%(130億7,569万円)は依存財源が占め、地方交付税への依存が非常に高い状態が続いています。一方、自主財源(市税、使用料、負担金、財産収入等)は、総収入の24.7%となっています。

歳出では、民生費が29.4%と最も多く、次いで公債費が14.9%、衛生費が12.5%、総務費が11.9%となっています。

## 企業会計の予算額

### ◆宇陀市立病院事業特別会計◆

患者さんに信頼される安全で質の高い医療とサービス向上に努めます。

#### ■収益的収支

【収入】 35億9,793万円  
年間入院患者数を50,005人・外来患者数を98,820人と見込んでいます。

【支出】 37億2,953万円  
給与費・材料費・経費等

#### ■資本的収支

【収入】 4億3,200万円 企業債・出資金  
【支出】 7億4,309万円 電子カルテ・機器購入・企業債の償還

### ◆介護老人保健施設事業特別会計◆

介護サービスの向上と経営改善を進め、皆さんから信頼される施設として努めていきます。

#### ■収益的収支

【収入】 5億4,000万円  
年間の入所者数（短期入所を含む）35,464人、通所者数4,575人と見込んでいます。

【支出】 5億4,000万円  
給与費・材料費・経費・減価償却費等

#### ■資本的収支

【収入】 0円  
【支出】 6,700万円 企業債の償還等

### ◆水道事業特別会計◆

事業運営において、できる限り経費の節減を図り、安全、安心な水を供給できるように効率的な経営に努めます。

#### ■収益的収支

【収入】 11億6,650万円  
給水戸数10,830戸、年間総給水量2,940千m<sup>3</sup>と見込んでいます。

【支出】 11億6,650万円  
維持管理経費・県水受水費・動力費等

#### ■資本的収支

【収入】 2億8,345万円 国庫補助金 企業債等  
【支出】 5億1,171万円 施設整備費 企業債償還金等

### ◆保養センター事業特別会計◆

美榛苑は平成22年10月1日より指定管理者による運営に移行しており、営業に関する収支予算はありません。財政健全化法に基づき作成した美榛苑健全化計画に沿って、一般会計からの繰入金1億4,700万円と指定管理者からの納付金2,160万円を一時借入金の償還に充てています。

#### ■収益的収支

【収入】 1億7,079万円 指定管理者納付金等  
【支出】 1億7,079万円 減価償却費用等

#### ■資本的収支

【収入】 559万円 一般会計出資金  
【支出】 559万円 建設改良費等

※各企業会計において、収入に対する不足がある場合は内部留保資金で補い、収支バランスを図ります。

### 一般会計歳出予算の内訳

議会費	1億4,868万円	議会議堂のために使うお金	商工費	4億2,607万円	商工・観光事業等に使うお金
総務費	20億6,463万円	人事・企画・財政・課税徴収・住民窓口・選挙・統計事業等に使うお金	土木費	14億2,713万円	道路・公園整備・都市計画・住宅管理等の事業に使うお金
民生費	51億621万円	高齢者・障害者・児童福祉・生活保護等、福祉事業に使うお金	消防費	12億341万円	火災・救急・風水害・地震等に対する事業に使うお金
衛生費	21億6,492万円	保健衛生・病院・ごみ処理・公害対策等、安全で衛生的な生活のための事業に使うお金	教育費	15億6,328万円	幼稚園・小中学校・生涯学習・スポーツ振興・文化財保護等の事業に使うお金
農林水産業費	5億4,051万円	農林業振興・農林道の整備事業等に使うお金	公債費	25億8,866万円	市債（市の借金）を返済するために使うお金
			災害復旧費・予備費	1億2,650万円	災害によって生じた被害の復旧に使うお金など

### 一般会計歳入予算の内訳

■自主財源	42億8,431万円	市が自ら収納、徴収できる財源のこと	■依存財源	130億7,569万円	国・県の基準により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源のこと
市税	26億5,151万円	市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税	地方交付税	78億8,000万円	所得税等、国税の一部から地域にかかわらず、一定の行政サービスを提供できるよう国から配分されるお金
繰入金	7億6,020万円	基金（貯金）から取り崩すお金	国庫支出金・県支出金	29億4,126万円	市が行う特定の事業に対し国や県が交付するお金
使用料及び手数料	2億9,788万円	施設の使用料や住民票の交付手数料等	市債	14億円	事業等を行うために資金を外部から借りるお金
繰越金	1億円	前年度から繰り越したお金	地方消費税交付金	4億8,685万円	消費税8%のうち地方消費税1.7%分の1/2が交付されるお金
分担金及び負担金	1億6,026万円	事業にかかる経費の一部を、その利用者に負担いただくお金 保育料や学校給食費等	地方譲与税	1億5,978万円	自動車重量税等を原資に、市道の延長・面積に応じて譲与されるお金
その他の自主財源	1億1,776万円	財産収入 寄附金	その他	2億780万円	ゴルフ場利用税交付金 自動車取得税交付金等
諸収入	1億9,670万円	上記以外の収入 利子 雑入等			

## 特別会計の予算額

会計名	平成30年度予算額	前年度増減額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,100万円	△730万円
市営霊苑事業特別会計	3,440万円	1,750万円
土地取得事業特別会計	7,400万円	△1億1,410万円
国民健康保険事業特別会計	40億2,530万円	△8億9,050万円
介護保険事業特別会計	40億8,600万円	4,800万円
後期高齢者医療事業特別会計	5億470万円	3,280万円
下水道事業特別会計	7億7,650万円	△1億3,100万円
合計	95億2,190万円	△10億4,460万円

# 教育長就任の「あいらび」

4月1日付けで改めまして宇陀市教育長に就任いたしました福田でございます。

これまでの3年間で、「新統合室生小学校の開校」、「宇陀市教育大綱の策定」、「総合教育会議の開催」、「菟田野中学校・榛原中学校の大規模改修」などの取組をさせていただくことができました。また、給食での地場産物活用による「給食甲子園準優勝」、社会教育の分野では、読書活動優秀実践図書館として「宇陀市立中央図書館の文部科学大臣賞受賞」と皆様方のご支援のおかげでまい種が少しずつ芽をだしつつあります。

私は、次代を担う宝物である本市の子どもたちに身につけて欲しい力は「自分で自分を高める力」と考えています。その力は、子どもたちの学校生活で「わかった。」から「おもしろい。」さらに「やってみよう。」とつながる「学ぶ意欲」を高めることが「鍵」だと考えます。その「鍵」では他人と過去は変えることはできませんが、「自分と未来」は変えることができると思います。つまり子どもたち自身の手のひらに自身の未来があるのです。



宇陀市教育長  
福田 裕光

魔法の「鍵」となるその『意欲の喚起』という教育課題の克服に向けて我々は何をなすべきなのでしょう。それは、アメリカの大統領ジョン・F・ケネディの言葉がヒントを与えてくれると思います。「国があなたのために、何をしてくれたのかを問うのではなく、あなたが国のために何をなすことができるのかを問うて欲しい。」この言葉を自らに問いかけながら、事務局一丸となつて、この課題克服に取り組んでいきたいと考えております。家庭という「心の庭」と社会教育・学校教育という「学びの庭」で培った経験を養分に変えながら、宇陀市の子どもたちの未来の花が美しく咲き誇ることを願っているところです。

今後、市民の皆様方のさらなるご指導・ご鞭撻をお願い申し上げますが、教育長就任のごあいさつとさせていただきます。

## 市民と行政とを繋ぐ役目を担っていただく 行政委員等の方々を紹介いたします

### ■選挙管理委員会委員

市長および市議会議員の選挙に関する事務を管理するほか、国政選挙を含む全ての選挙について選挙人名簿の作成管理を行い、投開票を行います。

(選挙管理委員会補充員)  
稲本 喜典 内田千鶴子  
鈴木 善信 西山 三代

### ■教育委員会委員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置される教育委員会の構成員です。

### ■監査委員

教育委員会では基本方針を決定し、それを教育長が事務局を指揮監督して執行します。

### ■公平委員会委員

地方自治法に基づき、市の行財政が適正に行われているか、能率的に行われているかを監査します。

### ■固定資産評価委員会委員

地方自治法・地方公務員法に基づき、職員の勤務条件に関する措置の要求や不利益処分等を審査し、必要な措置を講じます。

### 【選挙管理委員会委員】



森井 一成



高尾 晃



神明 悦子



前野 博

### 【教育委員会委員】



岡本 憲明



峯畑 忠郎



籠谷 順司



松井 利文

### 【監査委員】



籠谷 順司



松井 利文

### 【公平委員会委員】



松井 利文

### 【固定資産評価審査委員会委員】



辻本 勝次



大東 美智子



堀内 繁蔵



栗野 肇

### 【介護相談員】



北森 玲子



田中 富美子



森野 信子



藤本 彩子



奥垣 悦子



中山 富美子



小笹 富士子



松井 政子

大雨・長雨・土砂災害、生命を守るのはあなた！

# 5・27 宇陀市防災訓練

問 危機管理課 (☎ 82・1304/IP ☎ 88・9070)



昨年10月、台風第21号の襲来により近年稀にみる土砂災害等が多数発生し、甚大な被害を受けました。幸いにして人的被害はありませんでしたが、将来再び災害が発生することを示唆し更なる大災害を連想させます。この台風21号の襲来前から、本降りの雨が降り続いていました。10月21日と22日の総降水量は大宇陀で約275mm、ピーク時の1時間降水量は25mm程度の「強い雨(気象庁の予報用語 体感ではどしゃ降り)」でした。

もし、1時間雨量が25mmではなく30mm以上の激しい雨だったら・・・被害はもっと大きかったこととなります。この台風で、奈良県や宇陀市は大雨に対し脆弱であることが明らかにされました。

## 防災・減災の大原則

- それは
- ①危険を知る ②情報を得る
  - ③危険を判断する ④避難する
- 日頃から心がけて！



危機管理課 西田 (新規採用職員)

### あなたも防災訓練に参加しよう

5.27 宇陀市防災訓練では、梅雨時期の風水害の発生を想定し「災害対策本部の設置」、「市民への情報伝達」、「避難所の開設」などの訓練を実施します。防災行政無線、安全・安心メールやうだチャン11を活用して、訓練用情報を配信しますので、あなたやお住まいの地域で訓練に参加しましょう。

## 当日の日程

### 『訓練開始にあたって』

7:30

テスト気象情報の発表  
「大雨警報(土砂災害・浸水害)」

- ①安全・安心メール
- ②うだチャン11

※自主避難の目安です

### 『避難訓練の開始合図1』

8:30

「避難準備・高齢者等避難開始」  
の発令

- ①防災行政無線(チャイムと放送)
- ②安全・安心メール
- ③うだチャン11
- ④消防団広報車

### 『避難訓練の開始合図2』

9:30

「避難勧告」の発令

- ①防災行政無線(サイレンと放送)
- ②安全・安心メール
- ③うだチャン11
- ④消防団広報車



安全・安心メール

### 洪水情報を 緊急速報メールで配信

国土交通省では、住民の皆さんの自主的な避難に役立てるため、携帯電話などへの緊急速報メールを活用した洪水情報の配信を行っています。

【配信エリア】宇陀市全域

【配信する情報】国が管理する

宇陀川(室生地域内)において河川氾濫のおそれ、また河川氾濫が発生した情報

緊急速報メールが届いたら、  
雨の降り方や宇陀川の今の  
水位をHPで確認！  
次の行動に備えよう！



危機管理課 松本

※緊急速報メールとは、特定エリア内にある携帯電話などに緊急情報を一斉配信し、専用着信音と自動表示で告知するサービスのことです

問 淀川ダム統合管理事務所

(☎ 072・856・3131)

問 危機管理課

(☎ 82・1304/IP ☎ 88・9070)

宇陀の薬草産業の活性化のため

# 市内での薬草料理メニュー開発を支援します

問 産業企画課 (☎ 82・5874 / IP ☎ 88・9075)

## ■宇陀市薬草料理メニュー 開発支援事業補助金の申請を募集

随時募集

市内の飲食店などが新たな薬草料理メニューを提供することを目的に開発するための経費の一部を補助します。

### 【対象】

- 市内で飲食店などの営業を行っている個人また法人であって、飲食店営業許可を受けているもの
- 市税などの滞納がないこと など

【交付額】 定額 (10/10) (上限額 20万円)  
※予算額に達し次第終了

【補助対象経費】 試作材料費、旅費、食糧費、謝金、試食品代金、PR資材作成費等 ※旅費については3万円が上限

## 制度初年度の昨年は、5件の応募 10品のメニューが誕生♪

また、10月に開催された「宇陀市薬草文化祭・うだ産フェスタ」でも薬草関連ブースが多く出展され、近年、大和当帰をはじめとする薬草や薬膳、薬草のまちづくりへの関心が高まっています。

例えば、こんなメニューが誕生♪



▲薬草バーガー・当帰ジュレ (今阪屋・大宇陀)  
第32回国民文化祭の薬草料理コンテストで最優秀賞を受賞。



▲大和当帰弁当・御膳 (件-Kudan・大宇陀)  
重伝建の町並みの中、この看板が注目を集めます。



この事業は、奈良県中南和地域のインバウンドを中心とした観光拠点整備として、Wi-Fi整備を行うものです。

このことにより、来訪者がインターネットを利用して防災情報や観光情報を得るほか、SNS等を通して、松山地区をはじめ宇陀市の様々な魅力や情報を世界に拡散できるようになります。

今後の観光振興に寄与することを期待しています。

問 商工観光課 (☎ 82・2457 / IP ☎ 88・9081)

## 宇陀松山重伝建地区の一部で UDA Free Wi-Fiが 運用開始!



このWi-Fiは、来訪者が一定時間無料で利用できます。利用には、メールやSNSでの認証が必要です。

ネクストコモンズラボ (NCL) 奥大和

## 宇陀市仕事づくり推進隊 新メンバーが就任!

問 企画課 (☎ 82・1362 / IP ☎ 88・9074)

仕事づくり推進隊に新たなメンバーが加わりました。

NCLでは、今後もメンバーを募集しながら魅力あるローカルビジネスの創出に努めます。

市内での生業づくり・移住定住に繋がるようこれからも積極的に事業展開しますので、応援よろしくお願ひします。



▲栢森康晴 さん

【プロジェクト】 オーガニックベビーフードの開発、製造、販売



# 宝くじ助成金で地域を活性化!!

問まちづくり支援課 (☎82・3910 / IP ☎88・9094)

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業(コミュニティ助成事業)として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに対して助成を行っています。

平成29年度、市からは次の2団体が助成を受け、地域活動に必要な物品を購入しました。

## ■大王地区まち協

まち協活動の活性化のための備品整備として、自走式草刈機、草刈機、テント、物置等を購入。



## ■別所自治会

自治会活動の活性化のための備品整備として、集会所に設置するTV、BRプレーヤー、ダイニングテーブル・椅子、アルミ椅子、座椅子、エアコン、コピー機、掃除機、物置等を購入。



# 「宇陀の花だより」発売

問商工観光課 (☎82・2457 / IP ☎88・9081)

日本郵便株式会社による宇陀市オリジナルフレーム切手セットの第2弾「宇陀の花だより」が県内の郵便局、同ネットショップで発売されました。

82円切手10枚入りの切手シートには、宇陀市を代表する美しい花々の風景が紹介されています。

前回の「かぎろひの里」に続き、宇陀市のイイトコロをPRに繋がることを期待しています。



切手シート贈呈式の様子



念ずれば花開く

「想いを込めれば、きっと叶う」

歴史絵本創作 関ともえ さん

(榛原池上)



5年ほど前から、地域にある歴史絵本を創作し、夫とともにこの蓮昇寺に移り住んで約40年。福岡出身の私ですが、ここに来て地域に根付く歴史の深さにとっても感銘を受けました。

蓮昇寺は北畠親房の縁の地であり、その歴史を継承しなければならぬと、夫は住職をする傍ら、この寺で古文書や歴史を学ぶ会を催していました。残念ながら夫は約10年前に亡くなったのですが、その意志を受け継いで会で研究した資料をまとめたのが私の活動の始まりです。

もともと美術が好きで商業デザイナーの仕事をしてきたこともあり、これを契機に歴史書籍の絵を描かせていただくことになりました。その活動の中で約8年前、宇陀に縁のある中将姫の史実をわかりやすく描きたいと作ったのが第1号の絵本「中将姫」でした。

絵本というには、難しい内容ですが、私は「物語」というよりは、史実に基づいた「語り」でありたいと描いています。

イメージの挿絵であったり、時には模写した肖像画などを載せることで、歴史書ではなく、気軽に地域の歴史を知るきっかけになれば、これらの本を入口に少しでも歴史に興味を持ってもらえたらと思っています。

昨年は2作目となる「高山右近」を出版し、現在3作目を構想中。地元の方に、日常生活の中で地元の歴史を知ってもらいたいし、歴史に恵まれた宇陀を好きになってもらいたい、歴史を通して多くの方に来て訪していただきたい、そんな想いで作っています。

私も歴史が好きで勉強を楽しんでいまして、この活動がきっかけで多くの方と出会えました。この地には縁のある歴史上の人物がたくさんいます。これからのいろいろな人を描いていきたいです。



自費出版した歴史絵本「中将姫」「高山右近」



特集

市政トピックス

うだごから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウエルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん